

2006 年、卒業後 39 年目にして初めて開催された 42 年卒の同期会も、今年で 5 回目になりました。年年歳歳花相似たり 歳歳年年人同じからず といいますが、年により花見の場所は変わっても、幸いにしてほぼ同じ面々が毎年健やかに集まり続けています。

宴の場所は、新宿・浅草・新宿・小石川と変遷して、今年はまだ新宿に戻りました。

本日(3 月 27 日)午前 11 時、新宿御苑の入り口に集合したのは 15 名。

22 日に東京のソメイヨシノの開花宣言が出ましたが、その後、せっかく開いた花びらを蕾に戻してしまいそうな寒い日が続き、この日も東京の最高気温は、平年を 2℃下回る 12.3℃。ただ、空気は冷たいけれど、春分を過ぎた陽射をまともに受けるとホッとするような暖かさが身体に伝わってきました。そう、桜越しに見上げる空は真っ青でした。

ソメイヨシノはまだ蕾が多かったですが、新宿御苑は桜の種類が非常に豊富で、色は深紅から白、濃淡も様々、まさに桜の見本市の感があります。

盛りを過ぎたカンザクラ、カンヒザクラ、ナントカザクラ・・・、今が盛りのヨウコウ、カントカザクラ・・・、中で一番目立ったのはシダレザクラで、一本の大きなシダレを、大型カメラ、デジカメ、携帯が何重にも取り囲んでいました。その他にも木の花、草の花を愛でつつ園内を歩きました。

ハイキングクラブOBなのに、よたよた歩いている、という一部OGのご批判を受けながら1時間半、新宿御苑全体の半分程度をのんびり歩いてから、近くの寿司屋に場所を移しました。

42 会生みの母・まとうの開会宣言、大竹の乾杯により大宴会開始。

各人の近況報告も毎年となると、特に目新しい話題でもないと本人が一所懸命喋っているほど周りの関心と呼ばずに雑談にかき消され、座敷ということで席も自由に行き交いながら、賑やかなうちに 2 時間半、さらに喫茶店に移って 1 時間半で、今年の 42 会は終了しました。

今年は、8 月に復活後 4 回目の夏合宿が志賀高原で予定されていますし、9 月には創立 50 周年記念パーティもあるので、また顔を合わせる機会ができそうです。今日参加できなかった仲間にも、その時には会えることを期待しています。

間もなく、西海が写真を配信してくれると思いますが、ここには集合写真を 1 枚添付します。



左から

前列 小関(唐木)、まとう(日向寺)、菅原(猪間)、山口(赤坂)、岡林

中列 田上、小坂、荒木、布施、佐々木

後列 五十嵐、新妻、植村、大竹、西海